

男女がともに歩むまち

性別に関わらず、一人一人が輝ける社会を目指す福津市。このコーナーでは、市や市民の「男女がともに歩む」取り組みを紹介します。



▲男女ともに生き生きと働ける職場を目指しましょう

職場での男女平等を規定した「男女雇用機会均等法」は、今から35年前の1985年に制定されました。それまで、定年や退職、妊娠や出産に伴う職場環境および勤務状況は、男性と女性を比較すると明らかに差がありました。

女性が結婚や妊娠・出産をすると、いわゆる「寿退社」をするのが慣行として存在していました。妊娠したことが分かると、会社の管理職員などから退職をほめかされ、女性の意思や希望に関わらず、退社することを選択せざるを

得ないというケースがありました。

また、再就職を希望する子育て中の母親の場合は「子育て中」であることが採用に不利な条件として働き、再就職先がなかなか見つからないケースなどがありました。

男女雇用機会均等法の成立後、1997年には、それまで努力義務だった募集・採用配置・昇進の差別が禁止となりました。また、2006年には、男女双方に対する差別が禁止され、さらに、2016年には、妊娠・出産などに関するハラスメント防止対策が義務化されました。

このように、男女の差別問題は社会情勢の変化とともに、少しずつ改善され、今も変わり続けています。

市では「市男女がともに歩むまちづくり基本条例」を制定し「社会制度や慣行に縛られず、流されない」「男女とも、お互いの個性と人権を尊重するまちに」などを基本理念としています。

30年以上の時を経て、大きく変わってきた男女雇用機会均等法と、この基本理念に沿って、男女の人権が平等に尊重される男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを実施していきます。

問い合わせ 市男女共同参画推進室 ☎43・8116

男女雇用機会均等と男女共同参画

町宿のことがすてきな写真とともに、分かりやすくまとめであり、とても良かったです。（うめさくさん／中央）

街角記者では、広報ボランティアの大江由紀子さんが福津いざいの取り組みについて紹介してくれました。福津いざいでは、市内の農水産物の販路拡大や特産品を生かした商品開発などを行っています。

ます。福津いざいの皆さんの取り組みを通じ、福津の食材のファンが増えることを願っています。

福津三十六景では、末廣隆さんから投稿いただいた写真を紹介しました。畦町宿は、宿場町として栄えたところで、随所に見どころがあります。多くの人に訪れてほしい場所の一つです。

お便り・投稿大募集

「好いとお！福津」は皆さんと一緒に作るページです。広報紙の感想などがあれば14ページの市まちづくり推進室宛てのがきやメールなどで受け付けています。街角カメラポートは、記事を写真と一緒に市まちづくり推進室宛てに郵送またはメールで投稿

してください。投稿記事は500文字程度で作成し、写真は郵送の場合は印刷したものを、メールの場合は2MB以上のJPEGデータを送付してください。ただし、送信データが10MBを超えると受信できないことがありますのでご注意ください。

お送りいただいた内容は、紙面の都合で加筆、修正、短

縮する場合があります。また、応募多数の場合は選考します。原稿や写真は返却しませんのでご了承ください。匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。皆さんの声をお待ちしています。

受付、問い合わせ 市まちづくり推進室 ☎43・8113、メール info@city.fukutsu.lg.jp

街角記者の特集の人形浄瑠璃の記事も良かったですね。地域の宝「勝浦人形浄瑠璃」を福津の宝「子どもたち」にご指導される保存会のかたがたに敬意を表します。（Worldさん／通り堂／65歳）

いつもお便りありがとうございます。

近年は異常気象が常態化していて、いつ大きな水害が

やってくるか分かりません。また、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、避難する際の持出品にマスクや消毒液などの衛生用品を加えるなど、新しい対策も必要となっています。日ごろから災害発生時に備えた準備が大切です。

街角記者では、広報ボランティアの永松春一さんが勝浦人形浄瑠璃を紹介してくれました。勝浦人形浄瑠璃は100年以上の歴史を持つ、地域の大切な伝統です。この大切な伝統を、勝浦小学校の子どもたちや勝浦人形浄瑠璃保存会の皆さんをはじめとした、地域の大人たちが協力して、継承している姿を知ることができました。地域の伝統文化

福津いざいの皆さんが、福津産の食材を多くの人に知ってもらうために、熱い思いで頑張っていることが分かりました。早速、鯛茶漬けを贈物用に購入しました。

「福津三十六景」では、畦



▲優美な姿から「キノコの女王」ともいわれるそうです

許斐山は、頂上まで40分くらいで登ることができ、登山口にはトイレや駐車場も整備されているので、気軽に登山を楽しむことができます。山頂からの眺めも素晴らしいので、自然も豊かな場所です。皆さんも、登ってみてはいかがでしょうか。（T・Yさん／福岡南）

防災は日ごろの備えが大切

特集 集を読んで、早速、防災メール・まもるくんを登録し、非常持出品に感染防止対策の衛生用品を加えました。

という宝が子どもたちという福津の宝と出会うことで、さらに輝きを増します。他にもまだまだ私たちの知らない地域の宝が、福津にはたくさんあると思います。この宝がいつまでも残っていくことを願っています。

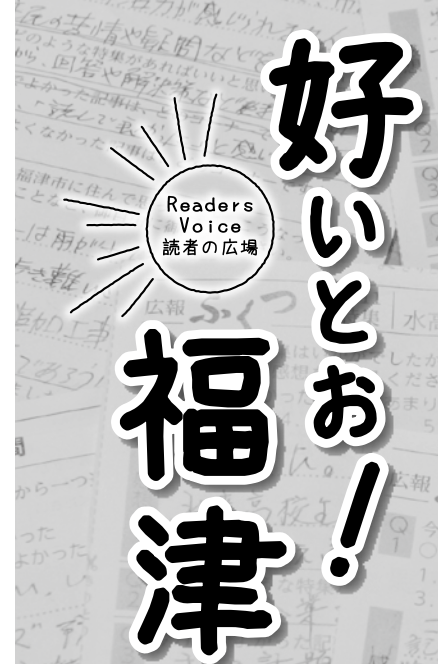
広報7月号の感想

食材の魅力が伝わった

福津いざいの皆さんが、福津産の食材を多くの人に知ってもらうために、熱い思いで頑張っていることが分かりました。早速、鯛茶漬けを贈物用に購入しました。

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言も解除されたので、6月21日と22日に、八並の許斐山に登ってきました。許斐山は福津市と宗像市の境に位置しています。許斐山は約千年前に宗像大宮司家が許斐城を築いた歴史ある場所、周辺には史跡も数多くあります。

福津側の八並吉原口の登山道から10分ほど登ったところにユリやアジサイなどの花がいっぱい咲いている場所があります。



読者の声を中心に、みんなと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想はもちろん、市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のこと、市内の出来事のレポートなどを掲載していければと考えています。皆さんの声をお寄せください。

街角カメラリポート

このコーナーでは読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題を写真とともにお届けします。